

広報みんなのしあわせ

じん けん ひょう ご
人権デザイン標語

ちょう ない せい と さく ひん
町内生徒の作品



上毛中学校 1年 秋吉 洋美(最優秀賞)



上毛中学校 1年 福谷 月野(優秀賞)



上毛中学校 3年 石田 成穂(入選)



上毛中学校 2年 久保山 恋羽(入選)



上毛中学校 2年 藤原 聖華(入選)



上毛中学校 2年 佐野 葉月(入選)

人権週間 12月4日水～12月10日火 2024
No.20

とう ぱる しょう がつ こう じん けん きょう いく 唐原小学校の人权教育

ゆた こころ じぶん たいせつ とも ほか ひと たいせつ みと じどう いくせい
豊かな心をもち、自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができる児童の育成

□人権学習

- 低学年は、善悪を判断し、進んで正しいことをしようとする心や友達と仲よくしようとする心について考えました。
- 中学年は、友だちと互いに信頼し、助け合おうとする心やみんなで公正、公平な態度で接しようとする態度について考えました。
- 高学年は、一人ひとりが考えて行動することが大切であることに気づき、集団生活を充実させようとする態度や、個性を伸ばし充実した生き方をしようとする心について考えました。
- たんぽぽ学級は、優しい言葉がけやあたたかい応援を行い、仲良くできることを体感できるような活動をしました。

□平和学習

8月6日に平和集会を行いました。校長が、「身の回りの小さな平和から大切にしよう」という話をしました。また、全校児童で、平和への願いをこめて、黙祷や「青い空は」の合唱を行いました。各学年では、絵本の読み聞かせやDVD視聴を通じ、戦争の恐ろしさと平和の大切さについて考えました。考えたことや感じたことを感想に書き、本年度も「唐原小・平和の木」を作成し、1年間掲示し、平和への思いを共有します。

□思いやりの心を育む仲間づくり～縦割り班活動～

毎週火曜日は、朝の15分間、縦割り班で花壇の花植えや除草を中心とした活動を行い、異学年集団による交流を図っています。また、1年生の歓迎集会や運動会、百人一首大会など、年間を通して高学年をリーダーとした活動を積極的に行うことで、児童が自ら学校生活を豊かにする心を育てています。

□地域・保護者との連携 ～コミュニティ・スクール唐原小学校～

地域のみなさんに、毎日の登下校の見守り活動を行っています。PTA活動では、年2回、除草作業を行っています。また、地域の方にも参加していただき、口演家 矢野大和さんを招いて「子どもの生きる力について」を演題に開催した教育講演会や、親子ふれあい活動を行い、心豊かな児童の育成を目指しています。



公開人権学習



平和学習



縦割り班による花植え活動



教育講演会

にし よし とみ しょう がつ こう じん けん きょう いく 西吉富小学校の人权教育

○自分で考え、判断し、自他の人権を尊重する態度の育成 ○認め合い、支え合う集団づくり

〈人権が尊重される人間関係づくり〉

本校では、異学年集団による縦割りブロック活動を行っています。高学年を中心となって、運動会、なわとび集会、芋の栽培活動や週に一度の縦割り掃除に取り組む中で、お互いを尊重し、認め合う態度を育てています。

〈人権学習〉

6月の授業参観では、「命を大切にする心」「友達と助け合おうとする心」「集団で行動するときに大切な心」など、人権尊重に視点をあてた「心」の学習を行いました。授業ではいろいろな立場に立って気持ちを想像したり、友だちと考えたことを伝え合ったりすることを通して、自他を大切にする心について考えることができました。

また、人権学習を受けて自分が大切にしたいことを標語にし、玄関に掲示しました。

〈平和学習〉

8月6日に読書ボランティア「未来」さんから、『へいわってどんなこと』『トトちゃんの15つぶのだいす』を読み聞かせしていただきました。低学年と高学年に分かれて、発達段階に合わせた本の読み聞かせをしていただきました。戦争のお話を通じて、苦しい生活、戦争の恐ろしさや悲惨さ、平和の尊さについて考えることができました。子ども達は、「戦争は、絶対にしてはいけないと改めて思いました。そして、戦争中は生きていたとしても、食べ物も住むところもなくなるので、とても苦しい思いをしていたんだと分かりました。」という感想をもっていました。



異学年集団の交流



人権学習



未来さんの読み聞かせ

とも えだ しょう がつ こう

じん けん きょう いく

友枝小学校の人权教育

- 自分自身で生きていくために必要な基礎学力を獲得した子どもの育成
- お互いにそれぞれの集団の中でコミュニケーションができる子どもの育成
- 自分を大切にすると共に、友だちを大切にできる子どもの育成

がくりょくほしょう とりくみ 学力保障の取組

- 朝のチャレンジタイムでは、基礎基本の確実な定着を目指し、全校で音読・漢字・計算学習に取り組んでいます。
- 主体的な学びができる子どもを育てるために、自主学習に毎日取り組んでいます。



朝のチャレンジタイム

にんげんかんけい そだ とりくみ 人間関係形成力を育てる取組

- 全校児童で縦割り班をつくり、6年生を中心に運動会、栽培活動、縄跳び集会など、様々な活動を行っています。お互いのよさを認め合い、発達段階に応じた態度や言動を身に付けています。



いもさし集会(縦割活動)

じんけんい しき たか とりくみ 人权意識を高める取組

- 6月21日に、沖縄慰靈の日についてミニ人権集会を行い、感想を交流しました。
- 8月6日の平和学習では、DVDを見て平和の大切さと自他の命を大切にすることについて考え、平和への思いや感想を書きました。



なかよしの木

みなみ よし とみ しょう がつ こう

じん けん きょう いく

南吉富小学校の人权教育

いのち たいせつ こころ ちいき たいせつ こころ はぐく
～命を大切にする心や地域を大切にする心を育む～

へい わ がく しゅう とり くみ 平和学習の取組

8月6日は、全校で平和集会を行いました。戦争当時を振り返る写真や平和教材をもとに、広島と長崎に投下された原子爆弾について学び、戦争の悲惨さと平和の尊さを学びました。また、自分たちの日常生活においても、自分の言葉で思いを伝えたり相手の思いを受け止めたりして問題を平和的に解決していくことの大切さを学びました。二度と戦争は起こさない、平和をみんなで守っていきたいという思いをもつことができました。



平和学習

じん けん しゅう かん とり くみ 人权週間の取組

人権週間では、一人一人の違いを認め合ったり、自分や友達の良いところを見つけたりして、みんなが大切な存在であることを学習しました。人権集会では、各学年が学習したことを全校に伝えました。みんなが笑顔になる言葉を考え、全校で「ふわふわ言葉の花」を咲かせる取組も行いました。

ち いき ほ ご しゃ 地域や保護者とのつながり

地域や保護者のみなさんが、毎日の登下校で児童の安全を見守ってくださっています。また、食育を中心にゲストティーチャーとして児童の学習を支援していただきたり、読み聞かせや習字、クラブ活動などの学習活動にご協力していただきたりしています。学校運営協議会を中心に、学校と保護者、地域が連携して豊かな心の児童の育成を目指しています。



人権集会



人権週間の取組



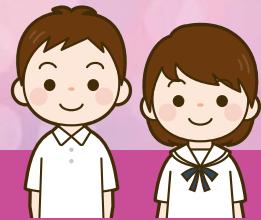
地域の方との交流「もちつき大会」

こう げ ちゅう がつ こう

じん けん きょう いく

上毛中学校の人权教育

さべつ がわ おも た たが そんちょう いのち たいせつ せいと そだ
「差別される側」の思いに立ち、お互いを尊重し、命を大切にする生徒を育てる



7月の「福岡県同和問題啓発強調月間」にあわせて、人権学習を行いました。

1年生は、「仲間づくり」の視点から、お互いの違いを認め合うことで「みんなが楽しく頑張れる」学級になることを目的に「ちがいのちがい」という教材で学習しました。8枚のカードを「あっていい違い」と、「あってはいけない違い」に分類し、班で交流しました。

2年生は、「障がい者問題」「共生」の視点から、「日本理化学工業」の障がい者雇用の考え方とともに、障がいを持った人や様々な人と共に生活をしたり仕事をしたりすることができるような社会を育むことを目的に「「日本理化学工業」の考え方」という教材で学習しました。日本理化学工業は、障がい者の雇用に力を入れている会社です。社員の約7割が知的障がい者で、チョークなどの文房具や事務用品の製造、販売を行っており、国内のチョークの70%を製造しています。障がいがある人の特性や個性に応じて作業方法の工夫や改善をすることで、障がいを持っていない人もみんなが働きやすくなるということを学習しました。

3年生は、「拉致問題」「児童の権利」の視点から、「児童の権利に関する条約」に示された権利や基本的自由が侵害されていることに気付き、人権の大切さを理解することを目的にアニメ「めぐみ」を用いて学習しました。

どの学年も共通して「差別を許さない心を育てる」ことを目標として、積極的に取り組んでいました。



1年生の人権学習



2年生の人権学習

啓発活動

「人権の花」運動

「人権の花」運動とは、福岡法務局北九州支局及び行橋支局管内に所在する小学校を対象に、各自治体や人権擁護委員協議会、法務局が主催となって行う人権啓発活動のひとつです。児童が協力し合って人権の花である「ひまわり」を育てることで、周囲への思いやりや命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み、情操をより豊かにすることを目的としてお

り、上毛町においては町内4小学校から毎年1校を対象に開催しています。

毎年11月には実施した小学校において感謝式を開催し、人権に関するイメージキャラクター「まもるくん」と「あゆみちゃん」とのふれあいや記念撮影、児童が大切に育てたひまわりの種入りのメッセージカードを付けたエコ風船飛ばしを行っています。



イメージキャラクターとの記念撮影



エコ風船飛ばし

こう げ まち じん けんきょう いく けん きゅうきょう ぎ かい しゅ さい じ ぎょう

上毛町人権教育研究協議会 主催事業

じん けん がく しゅう かい
人権学習会

多くの方々が人権感覚を身につけ、互いの人権を尊重し、認め合って共に生きていく社会を実現することを目的として、町人権教育研究協議会の企業会員の皆さんを対象に、毎年人権学習会を開催しています。

令和6年度は、7月27日に高村工業株式会社九州工場において「知ろう！気付こう！想像しよう！身近にひそむ様々な人権」をテーマに学習会を開催しました。

講師には、門野智行氏（福岡県教育庁京築教育事務所 人権・同和教育室）をお招きし、人権が尊重される地域社会の実現に向けて一人ひとりが無意識の思い込みをなくし寄り添って行動することの大切さなどについてご講話いただきました。

参加された皆さんのアンケートでは、「一人ひとりの意識・行動の改革が必要だと感じた」「人を見た目で判断しない」「相手の立場に立って行動したい」などの感想が寄せられました。



人権学習会

けい はつ かつ どう 啓発活動

国際連合は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定め、加盟国等に人権の発展を更に推進するよう呼びかけています。

法務省では、この「人権デー」を最終日とする1週間（12月4日～12月10日）を「人権週間」と定め、全国的に啓発活動を実施し、広く国民に世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

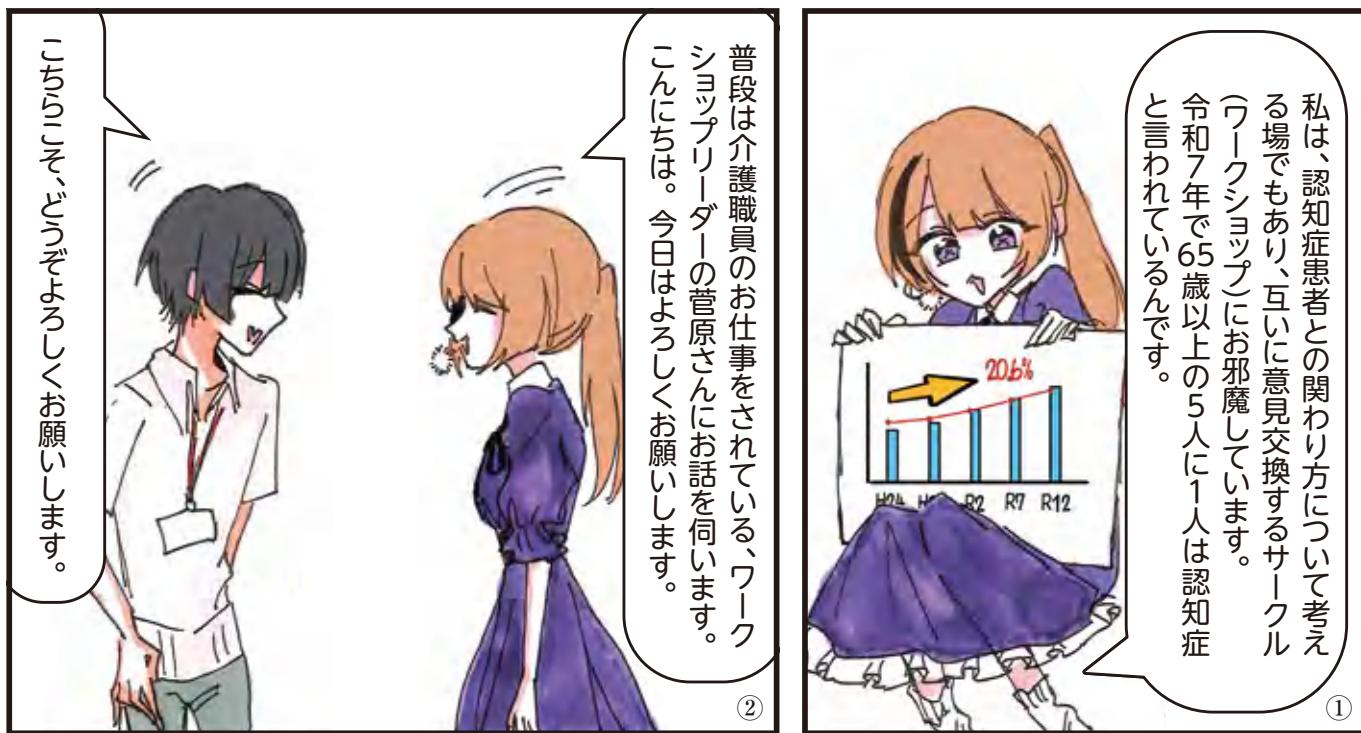
上毛町でも、毎年人権週間にあわせて、人権講演会を開催しています。令和5年度は、12月3日にげんきの杜 多目的ホールにて、フリーランサーの笠井信輔氏を講師にお迎えし、「足し算で生きる力～困難を乗り越えるためのヒント～」と題し、人権講演会を開催しました。また、講演会の開催にあわせて、町内小中学校の児童生徒から募集した人権ポスター・デザイン標語の入選作品の表彰式も行いました。



人権講演会

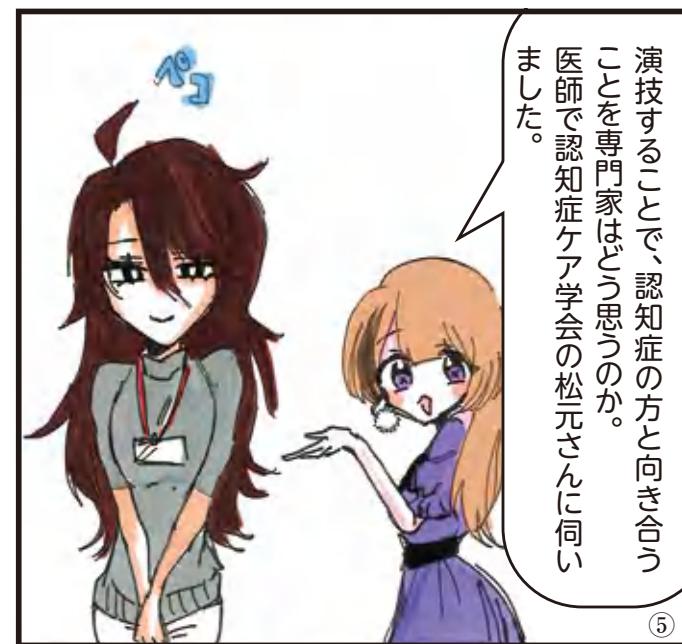


人権ポスター・デザイン標語入選作品の表彰式



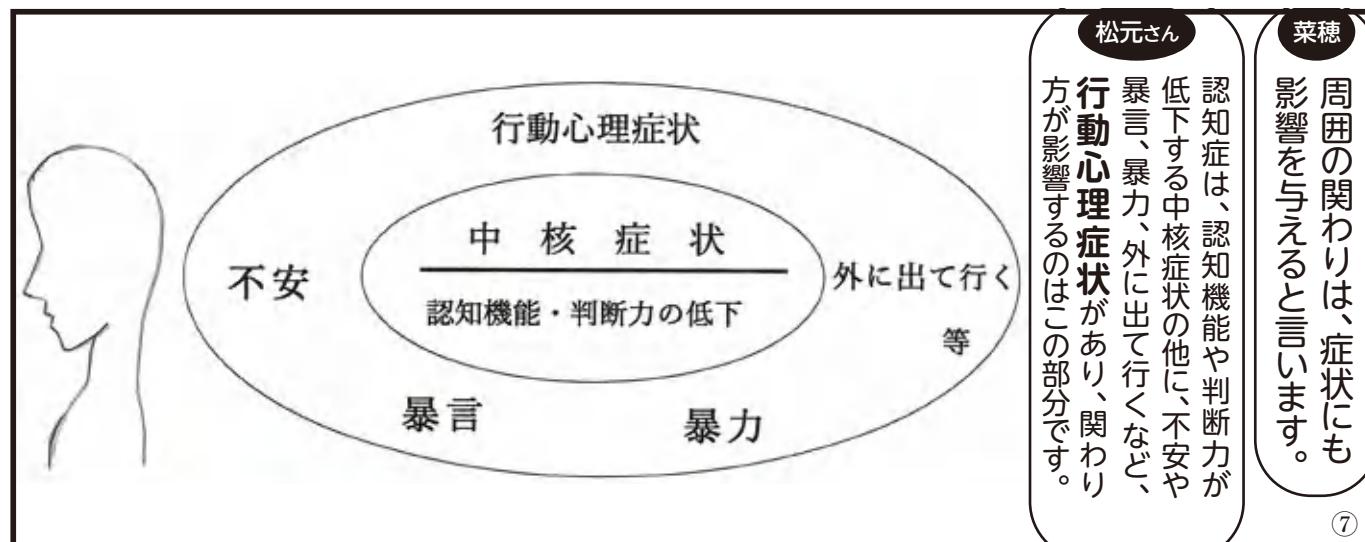


演技することで、認知症の方と向き合うことを専門家はどう思うのか。
医師で認知症ケア学会の松元さんに伺いました。



松元さん

周囲の関わりは、症状にも影響を与えると言います。



松元さん

認知症は、認知機能や判断力が低下する中核症状の他に、不安や暴言、暴力、外に出て行くなど、**行動心理症状**があり、関わり方が影響するのはこの部分です。



その人が感じている世界を推察する、それに基づいて対応すること、それこそが医療でも介護でも、それから家族の対応の態度としても、とても大切なことです。



医療やケアの世界では当たり前になつているんですが、周りの関わりによって、本人が悪化するかどうか、ずいぶんダイレクトに関係するんですよ。



「人生100年時代、周囲に認知症の方がいるのは特別なことではない今、関わり方に行き詰った時にも、『演劇』という考え方をヒントにして欲しい」と菅原さんは言います。

(14)

point

演劇!!



介護

菜穂

しかし、関わり方、考え方を変えることによって、「楽になることもあるのではないでしょうか。」

(16)

菜穂

介護って、正直、つらいこと、しんどいこと、大変なことの連続だと思います。

(15)

大變
しんどい
つらい



菜穂

演技を通して人と人が心を通わすことも

あるのではないかと思っています。

(18)

だます、嘘をつく

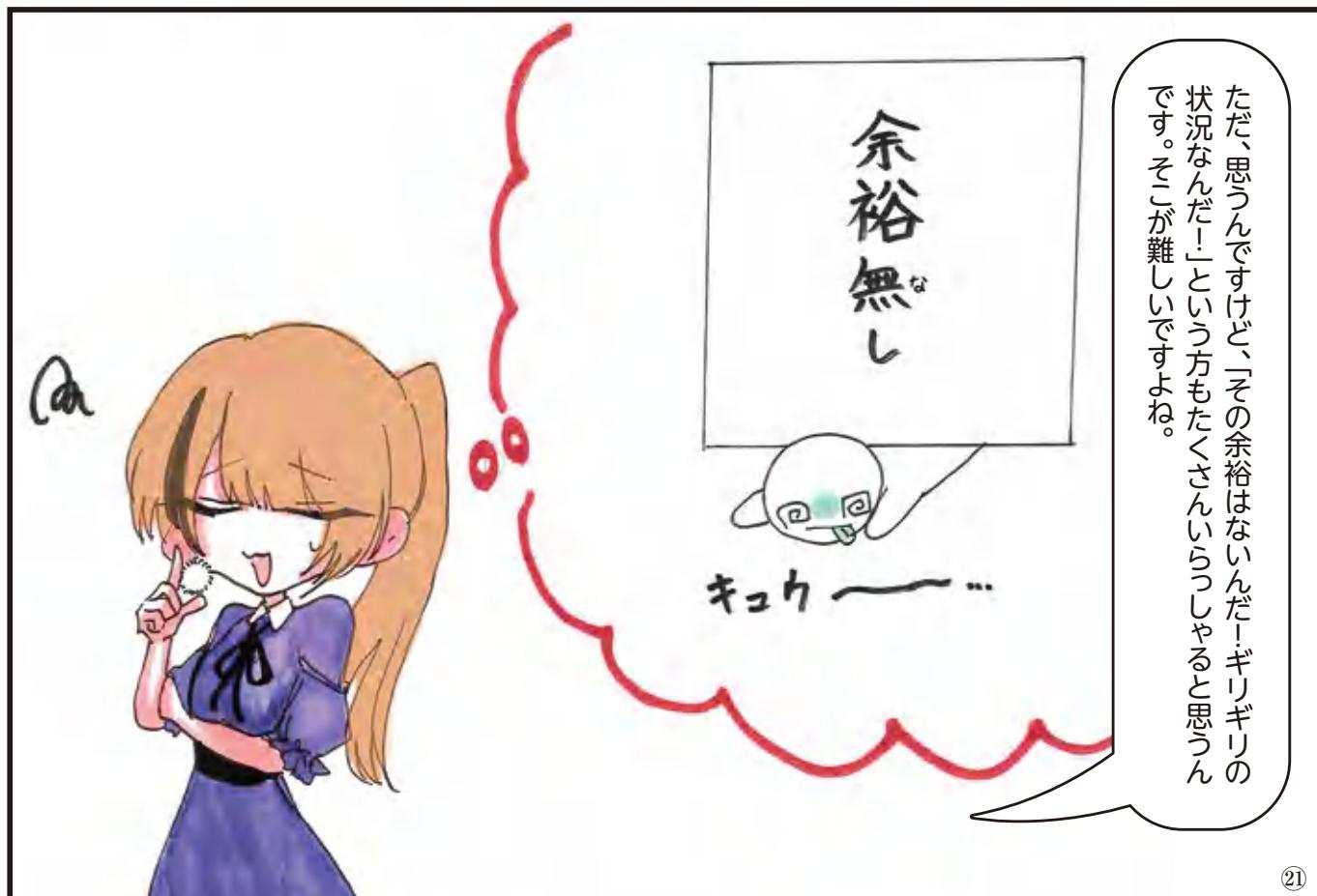


マイナス!!



演技というと、人をだます、嘘をつく、などとマイナスなイメージがあるのかもしれません…。

(17)





(22)



(23)



(24)

人権週間に合わせて行われる主な催し

●上毛町の主な催し

令和6年度人権啓発ポスター及び人権啓発デザイン標語に係る入選者を下記のとおり決定しました。入選作品につきましては、11月30日から12月31日まで「げんきの杜」において展示を行うほか、町が作成する人権啓発冊子や人権カレンダーに掲載し、町内全戸配布いたします。

令和6年度 人権啓発ポスター 入選者

【最優秀賞】南吉富小学校 5年 澤田 怜旺

【優秀賞】南吉富小学校 5年 小島 礼雅 南吉富小学校 4年 尾家 早紀

【入選】南吉富小学校 6年 小久保 慶祐 西吉富小学校 6年 安部 獅翔 西吉富小学校 6年 高橋 楓汰
西吉富小学校 6年 中山 佳奏 西吉富小学校 6年 山下 秀人 南吉富小学校 5年 長渕 蓮
友枝小学校 5年 常慶 志歩美 南吉富小学校 4年 松本 真結子
西吉富小学校 4年 末田 晴 唐原小学校 4年 了戒 星翔

【掲載作品】「令和7年版 人権カレンダー」に掲載

令和6年度 人権啓発デザイン標語 入選者

【最優秀賞】上毛中学校 1年 秋吉 洋美

【優秀賞】上毛中学校 1年 福谷 月野 上毛中学校 1年 松本 千結子

【入選】上毛中学校 3年 石田 成穂 上毛中学校 3年 小林 宗汰 上毛中学校 3年 北代 蒼來
上毛中学校 3年 日永田 真生 上毛中学校 2年 佐野 葉月 上毛中学校 2年 藤原 聖華
上毛中学校 2年 久保山 恋羽 上毛中学校 2年 霧田 莉愛來 上毛中学校 1年 橋本 華音

【掲載作品】人権啓発冊子「令和6年度みんなのしあわせ」又は「令和7年度 心ゆたかに…」に
それぞれ6点ずつ掲載

●福岡県の主な催し

期日	時間	内容	場所
12月 7日 (土)	開場 12:00 開演 12:55	福岡県人権週間講演会 入場無料・申込不要 ◆講師：谷口 真由美氏（法学者） ◆講演：「人権ってなあに？ ～いまさら聞けない基礎から現在地まで～」	クローバープラザ アリーナ棟2階 大ホール (春日市原町) (3丁目1-7)

懸賞 QUIZ

2024年(令和6年)12月31日消印有効

「菜穂ちゃん」についての問題です。次の言葉は、本文の中に出でてくる言葉です。

○の中にあてはまる言葉は何でしょう？

「○ん○き」という考え方をヒントに

答えがおわかりの方は、応募ハガキに住所・氏名・年齢・答え・感想等をご記入の上、お送りください。
正解者の中から、抽選で10名様に素敵なプレゼントを差し上げます。